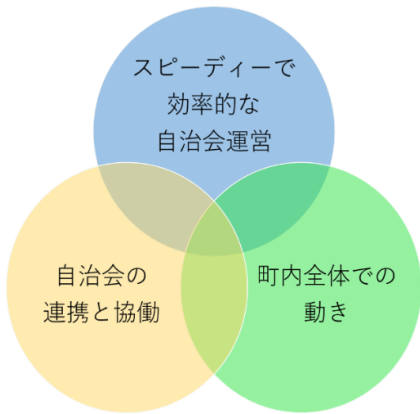


令和3年度 ACTR

分類 番号	A7	取組 名称	久御山町の「全世代・全員活躍型『生涯活躍のまち』(CCAC)構想」に基づく町内会・自治会の活性化戦略ビジョンの提案
研究代表者所属・職名：		公共政策学部・准教授	氏名： 藤原 茂樹
研究担当者：生命環境科学研究科 岩崎雅史、京都地域未来創造センター 永田恵理子、今堀誠弥			
外部分担者：久御山町 総務部行財政課 蒲田 真希 氏、京都府立大学名誉教授 青山公三 氏			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府久世郡久御山町 総務部行財政課			
【研究活動の要約】			
<ul style="list-style-type: none"> ● ACTR を公共政策学研究科の大学院授業（キャップストーン）の文理融合メンバー（生命環境科学研究科からも受講参加）と、京都地域未来創造センター職員、そして久御山町職員が協働で実施。 ● ①自治会長へのアンケートの実施、②住民1,000人に対する「久御山町のこれからの地域コミュニティを考えるアンケート」実施、③4自治会へのインタビュー調査実施、④石川県野々市市丸木町自治会、野々市市自治会担当課にリモートヒアリング、⑤久御山町の地域コミュニティを考えるワークショップを実施。等々の調査を実施した。 ● 各種調査から現在、久御山町における自治会活動が抱える諸課題を整理。 ● 諸課題を解決していくための方向性を検討し、その方向性に基づいて自治会活動活性化のための方策とビジョンを策定した。 			
【研究活動の成果】			
<p>◎ 各種調査から下記のような課題が抽出された。</p> <p>①自治会加入率の低下、②自治会運営の担い手不足、③自治会役員の負担軽減、④自治会の情報発信が不十分、⑤自治会内での情報共有の推進、⑥自治会の防災的役割の向上と役場との連携、⑦自治会同士の連携・協力、⑦ごみの分別収集・地域の清掃活動等の徹底・推進、⑧高齢者の見守り・支援、⑨若者や子育て世代が参加したくなる行事の開催、⑩自治会活動のメリット・魅力向上、⑪NPOや大学等との連携、⑫自治会活動のデジタル化促進、等々である。</p> <p>◎ これら課題を解決していくための方向性と具体的な施策を「久御山町自治会活性化ビジョン」として取りまとめた。ビジョンの中では、特に自治会のICT化を推進することや、それを支える人材育成などを推進していく必要であると提案した。</p> <p>◎ 今後の具体的方策の一つとして、自治会のICT化を挙げ、そのための町の支援とそれを担う人材育成が必要だとした。詳しくは「久御山町自治会活性化ビジョン」をご参照されたい。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>➤ 2021年11月23日に「久御山町の地域コミュニティを考えるワークショップ」を久御山町役場にて開催し、その場での大学側からの情報提供として、アンケート調査結果や先進事例等のヒアリング調査結果などの結果を報告した。</p> <p>➤ 2022年2月にビジョン提案も含めた報告会を久御山町にて開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった。今後の再スケジュールは未定である。</p>			
【お問い合わせ先】 京都地域未来創造センター			
Tel: 075-703-5390 E-mail: kirpinfo@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

＜自治会活性化の方向性＞



＜久御山町の地域コミュニティを考えるワークショップ＞ 2021年11月23日開催 @久御山町役場



＜自治会活動のデジタル化を進めている石川県野々市市丸木町自治会のアプリメニュー画面＞



● 役所の情報やこども会、学校情報、町内広報、回覧板などのアイコンが用意されている。防災情報では、実際の避難が必要になった場合に、支援が必要かどうかをチェックして知らせることが可能。また、作品展では自分が作成した様々な作品を随時アップ可能。また連絡事項のところでは、余った野菜のおすそ分け情報を載せることも可能。